

# No.50 福島県浅川町（観光・まちづくり団体の設立）

地域力創造アドバイザー	善井 靖氏（A084）
活用分野	観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度11月～令和9年度3月（月1、2回程度）
キーワード	#関係人口 #観光振興 #交流人口 #移住・定住促進 #地域おこし協力隊 #人材育成 #にぎわい創出 #ブランディング #魅力発掘 #地域資源活用

## 【目的】

地域おこし協力隊および地域人材の育成を行いながら自走可能な「観光・町づくり団体」の設立をめざし活動。今後組織する予定の団体の役割や活動内容の検討をするとともに、「観光・町づくり団体」が自走するための財源となる観光コンテンツの企画も行う。

## 【内容】

- 「観光・町づくり団体」の設立および資金調達の助言
- 浅川町民向け地域活性化セミナーの開催
- 浅川町役場職員様向けセミナーの開催
- 他市町村の事例を踏まえた浅川町の独自性ある体験コンテンツの造成

## 【成果（見込み）】

- 浅川町民向け地域活性化セミナー/ワークショップの開催  
→計4回開催（※見込み）、参加者40名（※見込み）  
→参加者のうち1名が地域おこし協力隊として着任、起業
- 「観光・町づくり団体」の設立および資金調達の助言  
→地域事業者、町民、地域おこし協力隊の計6名が参画する「観光・町づくり団体」の設立。  
→団体の活動資金および拠点づくりにおける資金調達に関する助言とサポートを実施。



▲町民向けセミナーチラシ



▲町民・役場職員向けセミナー風景

# No.84 石川県加賀市（DMO組織強化・観光振興プラン策定）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光地域づくり／DMOマネジメント強化／財源確保・持続可能な運営体制整備
活用期間（頻度）	令和7年4月～令和8年3月（月1回2日間訪問／その他オンライン含む随時伴走）
キーワード	DMO組織設計／財源確保計画／観光振興プラン策定／関係者インタビュー／官民連携／視察研修／地域資源分析／持続可能な観光地経営／中期計画策定支援

## 【目的】

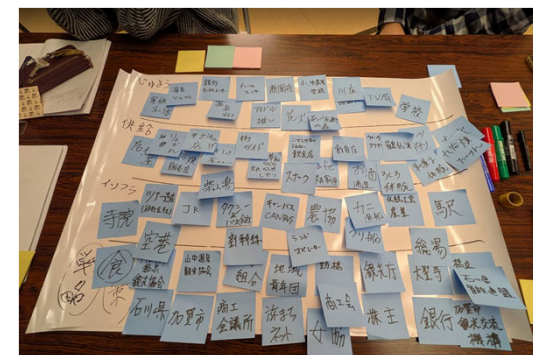
加賀市観光交流機構(DMO)が、自走可能な観光地域マネジメント組織へ移行するための基盤強化を図ることを目的に、(1)財源確保計画の策定、(2)観光振興プランの骨子整理、(3)関係者インタビューによる地域合意形成、(4)他地域DMO(釜石DMC・DMOなんじょう)との比較視察による組織能力向上を実施した。

## 【内容】

- **観光振興プラン(素案)策定支援** ・“加賀温泉郷の未来像”を導出するため、計画導出フレーム(DMO課題／地域課題／WS／ヒアリング)を加賀市向けに再構成。・マトリクス分析(特産・歴史・自然・食文化)を活用し、地域資源の再整理を実施。
- **財源確保計画策定支援** ・宿泊税・協賛・体験事業・関係人口型財源など、多様な財源の構造設計を提案。
- **関係者インタビューの実施** ・温泉地・商工・行政・若手事業者などを対象に「本音ベースの課題抽出」を実施。
- **他地域視察の企画・助言** (釜石DMC／DMOなんじょう) ・持続可能なDMO経営(収益事業・財源・体制・教育旅行・研修受入)のモデルを学ぶ視察を助言。・視察成果を加賀市の財源計画・体験造成方針へ反映。
- **業務フロー・内部体制の整理** ・加賀市観光交流機構、現地サポートチーム、外部調査チームとの三層連携の整理 ・計画策定の承認プロセス(行政・機構内部)を提示。

## 【成果(見込み)】

- **関係者の合意形成が大きく前進** ・温泉地・行政・機構職員の「課題認識の共有」が進み、観光振興プラン策定の実働ステップが明確となる。
- **視察成果を反映した“加賀市独自の計画”の基礎が完成** ・釜石DMCの「企業研修×地域資源」のモデル、DMOなんじょうの「官民連携型DMO」などを参考に、加賀市が目指す事業構造が具体化。
- **DMOの中期財源モデルを初めて明文化** ・宿泊税活用、体験商品の高付加価値化、インタビューを通じた課題の可視化等により、持続可能な運営財源の見取り図が整理できた。
- **観光振興プラン(素案)・財源計画(骨子)を令和8年2月に納品予定** → 令和8年度の施策立案・予算要求に活用される見込み。



※ワークショップの様子

# No.94 長野県松本市（山岳観光エリア戦略 × 起業家支援）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光地域づくり／DMOマネジメント強化／地域経済活性化 / 起業家育成
活用期間（頻度）	令和7年4月～令和8年3月（月1回2日間訪問／その他オンライン含む随時伴走）
キーワード	「山岳観光」「宿泊税」「観光地域づくり」「起業家支援」「関係人口」「自治体戦略策定」

## 【目的】

松本市の山岳観光エリア(上高地・乗鞍・奈川・安曇)の再編と宿泊税の効果的活用、地域内起業家の創出支援を通じて、持続可能な観光地域マネジメント体制を構築することを目的に、現地視察、起業家支援、戦略策定支援を実施した。

## 【内容】

### ● 活動① 西川町視察(山形県)

- ・地域商社モデル、インバウンド受入、体験造成、関係人口創出の成功事例を現地視察。
- ・松本市アルプスリゾート整備本部の「山岳＋滞在価値創造」の参考モデルとして分析。
- ・視察内容を松本市の山岳観光エリア戦略へ反映(MaaS / 滞在プログラム / 体験造成)。

### ● 活動② ふるさと起業家支援事業(審査助言・伴走支援)

- ・奈川・安曇エリアを対象とした起業家支援補助金の立上げに伴い、  
①事業審査項目の助言、②応募者への伴走支援を担当。
- ・地域内の資源活用型ビジネス(宿泊・体験・ローカル商社・飲食等)の磨き上げを支援。
- ・関係人口創出と移住促進に寄与する新規事業の形成をサポート。

### ● 活動③ アルプスリゾート整備本部 戦略策定支援

- ・11～2月にかけて5回の深層議論(ビジョン・戦略・アクションプラン)を実施。
- ・宿泊税の用途方針、山岳観光エリアの5カ年戦略、官民連携の骨格を体系化。
- ・2025(令和7)年度内に「松本市山岳観光ビジョン(中期計画)」を取りまとめ予定。
- ・市役所(観光課)とアルリゾ本部の合意形成プロセスを整理。

## 【成果(見込み)】

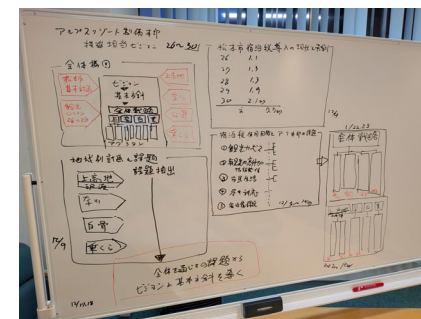
- 西川町視察を踏まえ、松本市の「山岳＋滞在型観光」の方向性が具体化
- 起業家支援の審査基準・伴走体制が整備され、地域内で新しい産業芽が創出
- 上高地・乗鞍・奈川・安曇の広域連携による「山岳エリア戦略」が初めて体系化
- 宿泊税の戦略的活用(安全登山・環境保全・滞在価値創造)に向けた方針が整理
- 市役所・アルリゾ・事業者の認識が統一され、令和8年度以降の施策に反映見込み



西川町でのヒアリング・視察の様子  
(菅野町長がホワイトボードで説明)



ふるさと起業家支援事業関係者との会議・WS  
集合写真



アルプスリゾート整備本部の戦略ホワイトボード(ビジョン・基本方針整理)

# No.191 沖縄県・南城市（DMO組成）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2回～3回程度）
キーワード	#観光振興 #地域経済活性化 #DMO #観光地域づくり #地域の魅力発掘 #合意形成 #官民共創 #持続可能 #ローカル・ゼブラ #自走型組織 #外部資金導入 #地域おこし協力隊

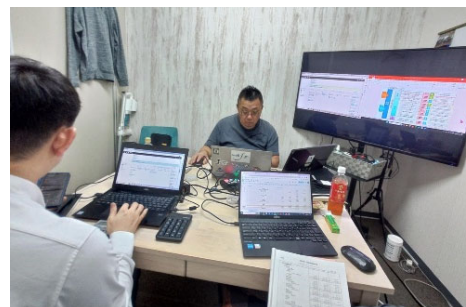
## 【目的】

南城市の観光地経営の司令塔として、公民が連携した形のDMO法人の設立を目指す。また、設立後は持続可能な観光地経営を行うために公的資金に過度に依存しない資金調達手法を検討し、CMO、CFOなどの専門人材確保を行い、早期の安定した組織運営を図ることによって、観光を手段として、地域の稼ぐ力を引き出し、地域社会、地域経済の好循環を生み出す。

## 【内容】

DMO組成に係る助言・サポートの実施

- 組織設計素案及び事業計画素案作成の助言
- 法人設立準備委員会設置・運用の助言
- 最適な法人格の選定とスキーム構築への助言
- 人材確保に関する助言
- 独自の収益事業の設計及び資金調達手法の検討
- DMO設立進捗状況報告会開催



（事業計画素案作成作業）



（DMO設立進捗報告会）

## 【成果（見込み）】

- 組織設計案及び事業計画素案を元にDMO設立に係る庁内・議会との合意形成を図った。
- 自立・自走する組織を設立するため、設立時点で資本金を調達し、公民が連携したローカル・ゼブラ企業として法人設立。（資本金4,000万円/構成：市25%、民間75%）
- 法人設立にあたり、出資者を構成員とした設立準備委員会を開催。（計5回開催）
- DMOの事業を担う人材として、新たに地域おこし協力隊及びCMO、CFOの公募開始。
- 市全体で観光地域づくりを推進する機運を醸成するため、DMO設立進捗報告会の開催。（30名参加）
- DMO事業の周知及び市民・事業者参画を促す機会として、tourism×Web3サミットの誘致。



（DMO設立準備委員会） 199

# 【R6】No.22 長野県・松本市（地域活性会社の事業再生）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	地域中核企業の支援、滞在・活動の場づくり、地域おこし協力隊の推進、官民連携、人材研修
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（現地訪問月1回程度・オンライン月2-3回程度）
キーワード	#地域資源 #地域再生 #観光地域づくり #事業再生 #財源確保 #関係人口 #経営理念 #事業計画 #行動指針 #ビジョン策定 #社員教育 #広告計画 #集客イベント #住民幸福度 #ウェルビーイング

## 【目的】

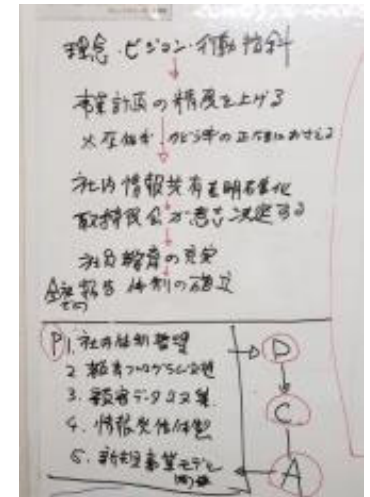
令和6年度から松本市奈川地区の地域活性を担う株式会社ふるさと奈川の事業再生を担当。半年間の調査・現地訪問・打ち合わせを経て、経営理念・ビジョン・行動指針の策定を図り、事業再生に入るべく経営全般・事業計画・教育・広報等に渡るアドバイスと計画策定を実施。

## 【内容】

- 松本大学教授陣との協議を実施、大学連携施策の具体案作成
- ミサワホーム主催イベントでのプレスリリース作成とイベント実施内容アドバイス
- 財務指標データの分析と経営改善点アドバイス、第三者割当増資による資本増強の具体的施策提案
- 事業計画分析と仕事満足度調査の結果に基づく取組事項の優先順位付け整理、提案。
- 施設の売上状況分析、利用者データ分析、施設運営に関する課題抽出と解決ロードマップ提示
- 組織の運営方針や予算、計画、体制変更等アドバイス。新規事業や社員教育に関する提案
- 「WELLBEINGワークショップ”幸せに働く”を考える3時間」全従業員向け実施。
- 観光地域づくり先進地視察・地域おこし協力隊、市役所職員引率（豊岡市、水上町）

## 【成果（見込み）】

- 経営理念・ビジョン・行動指針の策定  
経営理念が策定されていない組織に全社員が一つに纏る必要性を説き新規に策定。
- R7年度事業計画策定  
1.業務マニュアル作成、2.安全・衛生管理、3.勤怠管理、4.ハラスメント教育  
5.人事制度、6.広告計画、7.社員教育体制 等経営全般の新規計画策定
- 施設稼働率向上の体制整備  
現状の平均稼働率20%から35%に向上する為の体制整備



（議論時の説明ボード）



（先進地視察・豊岡市）（WELLBEINGワークショップ）



# 【R6】No.42 沖縄県・南城市（DMO組成検討）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2回～3回程度）
キーワード	#観光振興 #地域経済活性化 #DMO #観光地域づくり #地域の魅力発掘 #合意形成 #多様な関係者 #ワークショップ #勉強会 #観光協会

## 【目的】

観光の司令塔となる観光地域づくり法人（DMO）を設立し、行政や民間事業者及び地域住民等の多様な関係者を巻き込みつつ、データに基づく戦略策定・実施・効果検証、観光コンテンツの開発・地域資源の磨き上げや受け入れ環境の整備等を行い、地域一体となった観光振興による地域経済・地域社会の好循環（持続可能な観光地域づくり）を図る。

## 【内容】

- DMOに関する勉強会の開催
- 観光地域づくり講演会の開催
- DMO組成検討市民会議・WSの開催
- 観光協会との役割整理作業の助言
- 観光地域づくり法人の組織設計素案作成の助言
- 観光関連事業者及び地域住民との意見交換実施



DMO勉強会



観光地域づくり講演会

## 【成果（見込み）】

- 観光地域づくりの理解醸成のため勉強会を4回開催。（7月～9月）延べ118名参加
- 観光地域づくりの市民意識啓発のため講演会を1回開催。（10月）参加者105名
- DMO組成検討のため市民会議・WSを6回開催。（10月～3月）延べ131名参加
- 観光地域づくりについての考えを確認するため、関係者と意見交換実施。（5月～3月）計20名多様な関係者が参加して、観光地域づくりの理解醸成やDMO必要性の整理が図られた。
- 市民会議・WSにおいて、参加者よりDMO設立の目的や収益モデルの提案。
- 観光関連事業者や市民等の意見を踏まえて観光地域づくり法人設立の方向性決定。



DMO組成検討市民会議・WS